

第4回
「おおた生涯学習推進プラン」推進会議
資料

令和6年5月31日（金）

第3回推進会議で役割としたキーワード

学びのきっかけ

つながり・仲間づくり

新たな出会い
(個人の学び・成長)

地域の学びの場の基本的な役割

学びのきっかけ・継続を
支援する

つながり・仲間づくりの場
をつくる

発見・創造の機会を
つくる

文化センター・図書館・生涯学習センターの役割

参考【第3回資料】：生涯学習センター、文化センター、図書館での実施状況

実施状況		生涯学習センター (生涯学習センター蒲田)	文化センター	図書館
役割	学びのきっかけ・継続	○	○	○
	発見・創造	△	△	○
	つながり・仲間づくり	△	○	△
機能	情報	○	○	○
	講座・講師	×	△	△
	相談・コーディネート	△	△	△
	要の人の育成	×	×	△
	活動の場	△	○	△
空間	楽しい	×	△	△
	安心	×	△	△
	自由	○	○	○

○常時有 △常時ではない・完全ではないが有 ×なし

議題3 文化センターでの現在の取組【地域学習コーディネート報告】

役割	学びのきっかけ・継続を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 相談会、講座などを開催したことで、新たな来館者を増やすことができた ➤ ふらりと入ってきた人に声をかけることで、相談につながるがあった
	つながり・仲間づくりの場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 文化センターに行ったらいつもいる人、のほうに相談しやすい ➤ 曜日を決めて定期的に訪問したとしても、そのときに会える人が限られる
	発見・創造の機会を協働する	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 講座・企画会を実施することで、引き続きその文化センターを拠点として活動していくこととなった事例があった ➤ 文化センターを拠点として地域の課題に取り組む活動を育てるのは、常駐しているほうがやりやすい
機能	情報	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在も区のいろいろな部署から送付されたチラシがたくさん配架されているが、「学び」に関する情報を探す人が探しやすくなっていない ➤ 配架されているチラシから自分の興味があるものを探すのが難しい（声かけや相談が有効）
	講座・講師	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 文化センターを会場とすることで、新たに来館する人は増加した ➤ 定期的に訪問し、地域の人と話すことで、様々な得意技、スキルを持った人材を紹介してもらうことができた
	相談・コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 様々な団体の状況を把握しておくことで、団体からの相談に適切な助言ができ、信頼をしてもらえるようになった ➤ 常駐していないため、ニーズがある人と特技を持った人や団体のマッチングが難しかった
	要の人の育成	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 利用者連絡協議会は、本来団体間の調整や交流をする目的で設置されているが、相談相手、担い手が不足し、活動が限定されていることがある ➤ 相談員が文化センターで活動する団体にヒアリングしたことで、現状の把握につながった
	活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ロビーで学習成果を展示することで、新たな来館者や団体への加入を呼び込むことができた ➤ 常駐していないため、雰囲気づくりまでには至っていない

参考【第3回資料】：各施設の重点機能（利用者から見える機能）

機能	(新) 生涯学習センター	文化センター	図書館
情報	●	●	●
講座	●	○	○
相談	●	●	○
コーディネート	●	●	○
要の人の育成	●	●	○
活動の場	●	●	○

●重点機能
○常時ではない
が担う機能

➤ 生涯学習推進の拠点

- 上記の機能の他、区内全域の学びに関する情報の集約、人材育成等**センター機能**を担う。

➤ 地域の学びの拠点（活動）

- 区民に最も身近な活動の場として、コーディネート、要の人の育成、活動の場の提供を重点機能とする。
- 学びの裾野を広げるため地域の実情に合わせた講座を定期的実施する。

➤ 地域の学びの拠点（情報）

- 最も多くの多様な年代の区民に利用される社会教育施設として、学びに係る情報提供を重点機能とする。
- 学びの裾野を広げるための講座や相談会を定期的開催する。

議題4 文化センターでの取組案①【まちの学びの場を考えるワークショップ～つづき～実施報告】

1 開催概要

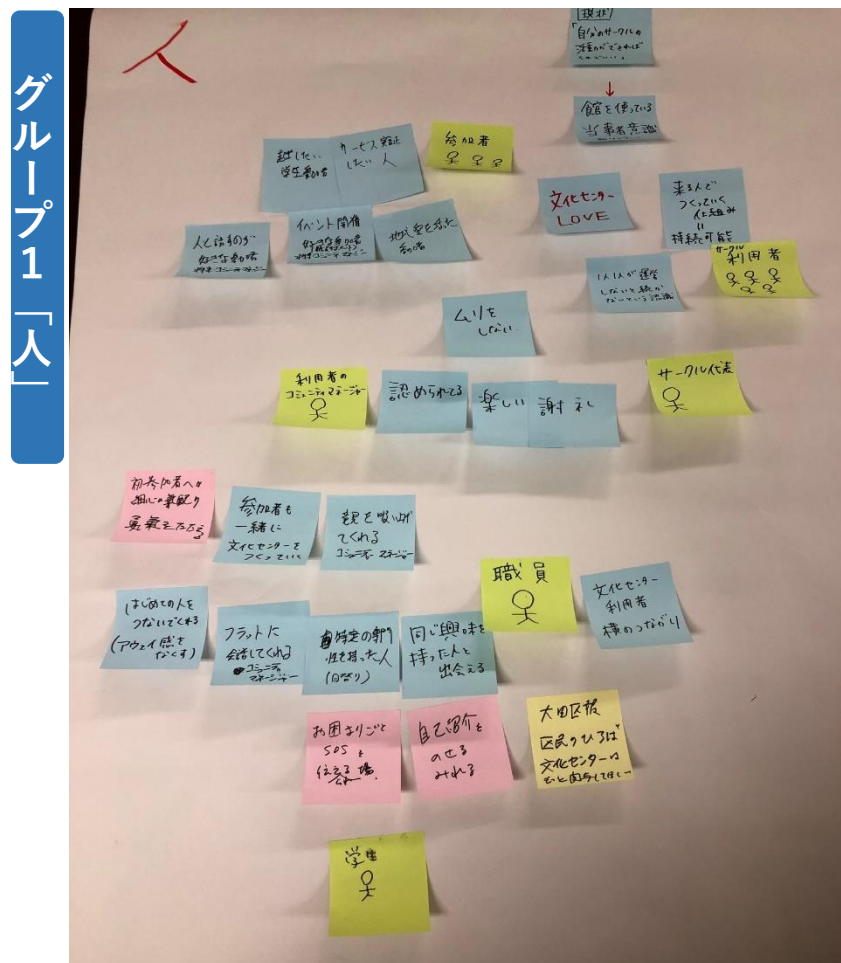
- 日時 令和6年3月25日（月）18：30～20：30
- 会場 大田区役所本庁舎
- 参加者 13名（20代～70代の区民）
※11月27日のワークショップ参加者
- プログラム
 - ・地域の学びの場 あるべき姿について
 - ・グループワーク

2 グループワーク結果

- 参加者は、3つのグループに分かれ、**文化センター**をモデルケースとして、具体的なアイデアに関する意見交換を行った。
 - ・グループ1 人
 - ・グループ2 取組
 - ・グループ3 空間

【グループ1：主な意見】

- ・利用者としても活動ができる場があるありがたさを認識し、当事者意識を持たないといけない。
- ・文化センターを愛している人、来る人で作っていく仕組み、職員・施設側に頼るだけの仕組みだと循環していかない。
- ・職員として求められるのは、文化センター利用者、職員の横のつながり、情報連携を作ってくれること。
- ・職員だけでなく、その場を盛り上げる「コミュニティマネージャー」、コンシェルジュのような存在。新規の人の入りづらさを解消するようフラットに会話をしたり、施設に関する意見などを吸い上げてくれる人が必要。
- ・固定した人ではなく、特定の知識やスキルを持った人が日替わりでいたら、人に惹かれてコミュニティができるのではないか。
- ・ちょっとした困りごとを相談したい人、その手助けができる人が出会える場になると良いのではないか。



議題4 文化センターでの取組案④

地域の学びの拠点（活動）～まちのたまり場・日常の学びの拠点～

- ▶ 地域に開かれた交流の場として、目的がなくても滞在し、くつろぐことができる
- ▶ あらゆる世代の人々が集い、学び合い、つながることで、地域づくりの主体を形成する
- ▶ 区民が学びたいことを学ぶ場を提供し、地域の文化や持続的なコミュニティを創造する

学びの裾野を広げるため、**これまで文化センターを利用していない区民**を想定した事業や空間を展開する

情報	<ul style="list-style-type: none"> • 図書館等周辺施設と連携した情報発信（講座情報、文化センターでできることの紹介） • 利用団体の紹介（掲示板・発表会・体験会） • 利用団体が活用できる情報・資料の紹介
講座	<ul style="list-style-type: none"> • 身近な暮らし・地域の文化・歴史・地域課題等を題材とした講座 • 利用団体向けの講座 • 利用者と企画する講座・イベント • 図書館等周辺施設と連動した講座（文化センターの講座と図書館の展示が連動する等）
相談	<ul style="list-style-type: none"> • 身近な地域での学びや活動に関する相談 • 利用団体の支援（集団化、発展過程、活動・運営に係る支援） • ちょっとした困りごとが相談できる場×気軽に地域貢献ができる場 ⇒地域の人々の交流の場 ⇒新規の利用者の来館促進
コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> • ライフステージ・興味ごとの交流の場（育児中の人、退職したての人、地域の歴史に興味がある人等） • 利用者・団体間の交流・連携の場をつくる • 図書館等周辺施設とのネットワーク強化 ⇒利用者が求める学び、活動とつなげる
要の人の育成	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者が運営に関わる仕組みづくり（フラットな立場で利用者に関わる） • 様々な知識やスキルを持った人が日替わりでスタッフとして運営に参加してもらう • サポーターとして養成された人の実践の場となる
活動の場	<ul style="list-style-type: none"> • ロビーを活用し利用者・団体間の交流が生まれる場をつくる • 保育室の整備等、多様なライフステージの利用者が使いやすい施設とする

議題4 文化センターでの取組案⑤

空間

【ロビー】

- 予約不要の打ち合わせスペース
- 明確な目的がなくてもくつろぐことができる
- 飲食ができる
- おしゃべりができる

【多様なニーズへの対応】

- 保育室・授乳スペース等の整備⇒存在を周知する



美原文化センター
生涯学習相談会の様子

職員

【役割】

- 新たな利用者（世代）を想定した環境整備を行う（保育室の整備、諸室の利用方の検討等）
- コンシェルジュ的存在として、声かけや相談を行う
- 利用者、団体間の横のつながりづくりをサポートする
- 地域の特性（文化センター周辺住民の学びのニーズ、人材、資源など）を把握する
- 利用者の意見を受け止め、ともに場を運営していく仕組みをつくる
- コミュニティマネージャー的存在として、周辺の図書館、学校、その他機関等とネットワークを形成し、活動の幅を広げる

【専門的な力量をもった職員の配置】

- 社会教育に関する識見と経験を有する者を配置する

【運営】

- 地域とのつながりづくり、団体の組織化に向けた支援など、一定期間同じ体制で関わる必要があるため、直営（一部委託）がのぞましい

議題5 図書館での取組案

コンセプト

地域の学びの拠点（情報）～まちの憩いの場・学びの情報拠点～

- 学びと活動の情報拠点として、生活を豊かにするための学びのきっかけを探ることができる
- 図書等資料を仲立ちとして人と人とのつながりを育み、必要に応じて地域での活動に誘う

※ここでは「学びの場の基本的役割」に関わる機能を主に確認し、貸出・情報サービス等図書館の基本的機能については言及しない

機能

情報	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 図書館周辺の講座・団体に係る情報発信 ・ 図書館周辺の活動の場の紹介（文化センターと連携） ・ 地域での活動に活用できる資料の紹介
講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化センターと連携した講座（地域の文化・歴史・課題等） ・ 図書館周辺で活動する団体と連携した講座（文化センターと連携）
相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンス（参考調査）の延長で、利用者の興味・関心に応じた講座・団体を紹介
コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 区立小中学校との連携（授業等への協力、学校図書館支援） ・ ライフステージ・興味ごとの交流の場（おはなし会等イベントの参加者の継続的な交流を促す） ・ 図書館で活動する団体と周辺施設・団体をつなげる
要の人の育成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 読み聞かせボランティア・音訳者の養成
活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 図書館に関わる活動をする団体、地元の団体に活動の場を提供する

✓：すでに実施している取組

空間

【ブラウジングスペース】

- ・ 居心地が良く、くつろぐことができる

【多様なニーズへの対応】

- ・ 授乳スペース等の整備⇒存在を周知する



池上図書館

議題6 生涯学習センターでの取組案①

コンセプト

おおたの生涯学習推進の拠点

- 区内における生涯学習の機運を醸成する
- 区民が身近な地域で学ぶきっかけ・継続を支援する
- 生涯学習に関わる人材（職員・サポーター等）を養成する
- 区内の生涯学習関連施設の中核として、施設に対する支援や情報の集約・調整を行う

機能

情報	<ul style="list-style-type: none"> • 生涯学習への興味を喚起する情報を発信する • 区内全域の講座・団体、施設に関する情報を集約・発信する
講座	<ul style="list-style-type: none"> • 区民の学びのきっかけとなる講座 • 区内で活動する団体向けの講座
相談	<ul style="list-style-type: none"> • 学びの機会・場に関する相談 • 他団体との交流等に係る団体からの相談
コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> • 区民のニーズに合った講座・団体・施設等の紹介 • 団体間の交流・連携に係るコーディネート • 区内全域で生涯学習に関わる人の交流の促進
要の人の育成	<ul style="list-style-type: none"> • 各地域で主体的な学習の推進役となる人材向けの研修 • 地域で活動の場を求める人に対する支援
活動の場	<ul style="list-style-type: none"> • 団体、生涯学習に関わる人の交流、活動のためのスペース • 学びの裾野を広げるための講座・イベントを開催するためのスペース

センター機能

区内の学習需要の把握及び 学習プログラムの研究・企画	<ul style="list-style-type: none"> • 区内の生涯学習関連施設等から情報を集約し、好事例等を共有する • 各地域で応用可能なプログラムを試行する
生涯学習関連施設・関連団体等との 連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> • 生涯学習関連施設・団体への助言・支援 • 施設・団体間の連携の促進
職員研修・交流	<ul style="list-style-type: none"> • 職員研修（地域の学びの場の役割・機能への共通理解） • 職員間の交流・情報共有の場をつくる

議題6 生涯学習センターでの取組案②

空間

【立地】

- 区内各所からのアクセスが良好な場所に設置する
- 区の生涯学習推進のシンボリックな存在として、図書館（機能）との連携がのぞましい

【諸室】

- 情報・展示スペース
- 相談窓口
- 多目的室（講座・研修等）
- 予約不要の打ち合わせスペース
- ロビー（明確な目的がなくても滞在できる、飲食ができる）

【多様なニーズへの対応】

- 保育室・授乳スペース等の整備⇒図書館と共用も可能

運営・職員

【運営】

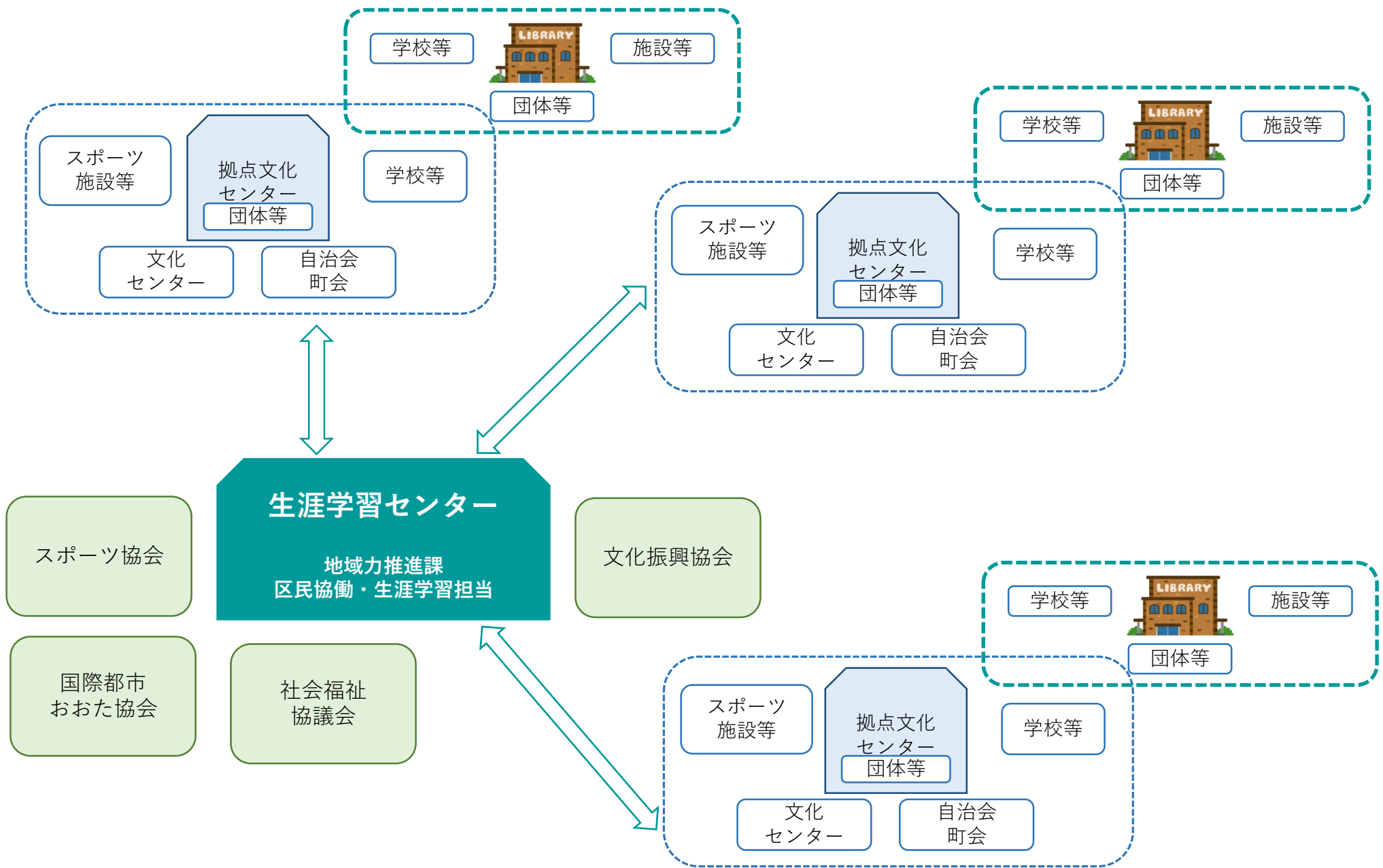
- 区内の生涯学習関連施設、団体と一定期間同じ体制で関わり、支援するため直営（一部委託）がのぞましい

【専門的な力量をもった職員の配置】

- 社会教育に関する識見と経験を有する者を配置する



武蔵野プレイス（図書館機能、生涯学習支援機能、市民活動支援機能、青少年活動支援機能が複合化）



	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
おおた生涯学習推進プラン	おおた生涯学習推進プラン R4～R8			おおた生涯学習推進プラン（第2次） R9～R13				
文化センター	指導員 定期訪問 継続R5～	試行実施 1館	試行実施2館	8館での実施に係る検討				
図書館		情報発信 拡充1館	情報発信拡充 2館	13館での実施に係る検討				
生涯学習センター	庁内調整・候補地等に係る検討							